

# 雨の科学

担当 重 尚一

## はじめに

雨をもたらす雨粒の大きさや雨量の地球分布など、地上観測と衛星観測によって雨をマイクロからグローバルな視点で考察する。

## 内容

本課題では、地上観測による雨滴粒径分布の季節変化や降雨強度との関係、衛星観測による雨量の地球分布を調べる。また、地上と衛星の同時観測も試みる。結果の解釈のため、関連する文献を読んでいく。

尚、夏季の雨を観測するため、夏季休暇中に1, 2度、理学部1号館屋上において観測を実施する。観測日程は、履修者決定後、相談の上、決める。

## ねらい

大気科学分野では既存のデータを解析することで研究を行えるが、自分たちでデータを取得することによって、データの貴重さや含まれる誤差などを体感できるだろう。自分達自身でデータを観測し解析することによって、様々な創意工夫をしたり、直接現象と触れたりする良い機会になるだろう。また、衛星データ解析の基本について学ぶ機会となる。

連絡先： 理学部1号館364室 Tel: 075-753-4271 E-mail: shige@kugi.kyoto-u.ac.jp

参考: <http://www-clim.kugi.kyoto-u.ac.jp/>